

市民と野党の共闘で『安保法廃止』の政府を！

「スガ＝アベ政治」に代わる新しい政治を

アベ政権以上のスガ強権政治の実像が早くも明らかになりました。「学術会議会員任命拒否」は学問の自由を否定する暴挙です。これまでの国会答弁を覆したり、内閣法制局も了解の上だと強弁するなどその乱暴なやり方は、安倍政権以上だといえます。

冬に向かってコロナ感染が広がっています。政府肝いりで行った「GoTo キャンペーン」がその原因を作ったことは明白です。皆さま、こまめに換気、手洗い、消毒に心がけましょう。

政府が進める「GoTo キャンペーン」は、感染の爆発的広がりのキッカケを作りました。冬にかけて活発化することは十分に予想できたことです。スガ首相の「マスク会食」、小池都知事「5つの『小』」、政治のトップがそれしかいうことがないのか、感染を抑える具体的な手立てが見えてこない。その無策ぶりにあきれればかりです。やっと「見直し」です。遅きに失したというべきです。

○○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

『北海道に「核のゴミ」を持ち込むな』意見書（案）

「原発といのちを考える北広島市民の会」が市議会へ、表記の意見書（案）の採択を請願、12月15日（火）の民生常任委員会で審議されます。午後1時からです。皆さんの傍聴をお待ちしています。

ご存知のように、北海道寿都町と神恵内村が、原発から排出される高レベル放射性廃棄物（「核のゴミ」といわれるもの）の「最終処分場」建設の第一段階といわれる「文献調査」に応募しました。これははじめてのことです。原発が稼働する限り排出されていく「核のゴミ」。深地層に埋め立てすることが果たして本当に安全なのか、これだけの地震多発地帯、火山国なのにはです。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

11月例会 「スガ政権下と野党共闘」 弁護士・神保大地さんのお話

11月8日（日）団地住民センターで第80回例会を開きました。コロナ感染の新たな拡大から急遽25名の人数制限での開催となりました。24名の市民が参加されました。

弁護士の神保大地さんは、安倍政権の問題点から振り返り、それが日本社会にもたらした状況、またコロナ禍とその無策でさらに明らかになったことなどを踏まえ、野党共闘との連携を含めたこれからの市民運動について、まず一人からでもできる運動のヒントなど多岐にわたり力強く歯切れの良い語り口で次のようにお話しされました。

安倍政権末期の状況・コロナ感染の対応

アベ政権は、モリ・カケ・サクラに代表される国政の私物化、自己正当化のための官僚やマスコミの統制、国会を軽視し説明責任を果たさず、自ら率先してヤジをとばし、女性議員

には差別的態度をとってはばからない。国民の半数以上が反対している憲法改悪には政権期間を通して執念を燃やし、憲法改正のルールを変えようとしたかと思えば、法の解釈を閣議決定で変え、特定秘密保護法、共謀罪、安保法の成立など、数々の立憲主義の破壊行為を行ってきました。また公文書資料の改ざんや隠ぺいが図られ、その従事者に自殺者を出すことになりました。

コロナの政府対応でも明らかなように徹底したおともだち政治と、反対勢力の排除をおこない、一般市民、ましてや弱者の視点からも遊離しています。コロナのような危機事態でより弱いもの（女性や障がいを持った人など）がさらに困窮しています。国内外の状況や関係性を考慮したうえで、科学的合理性のある政策と適正な公助が求められます。

スガ政権の強権ぶり・これまでの野党共闘・わたしたちは何をすべきか

日本学術会議会員 6 名の任命拒否の問題では、安倍首相よりひどい答弁に終始して（それも全く事実と違う）国会審議を無駄に延ばし、安倍首相と変わりなく公助を渋る姿勢を貫く菅首相。来る総選挙に備え、市民運動の機運を高めましょう。

安倍政権の下での明文改憲の阻止、立憲民主党の誕生や野党共闘の発展、声を上げ続けることで勝ち得てきた現金給付などのまともな政策の実現など、市民運動の成果を誇り、糧にしましょう。SNSのような新しいメディアが若者の意識と行動を変えつつあり、検察庁法改正（黒川検事長定年延長問題）失敗などに大きな役割を果たしました。身近に見るデモ、集会などの定期的な運動が今の 10~20 代の若者の意識や投票行動に大きな変化を与える一因になっているといえます。

「市民の風」などの地域の組織は、地域の草の根団体などの要望を吸い上げ、それが中央の市民連合の要望書に反映され各政党に渡されます。市民に寄り添った政策そして候補者を各政党が一致して掲げるよう野党共闘に働きかけましょう。「市民の風」が『北海道による連携と共同の提案』で掲げている、一選挙区ではなく北海道レベルで政党と市民が連絡会を持って候補者を調整し、北海道全体で勝つ選挙戦略は、大事でありすでに成功例があると神保弁護士は強調します。

〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇
<お詫び> 当会のメールアドレスが間違っていました。今号から正確です。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝え

る『バトンタッチ』第 8 集が刊行されています。頒価 300 円、ぜひご覧ください。戦争時の体験をお聞かせください。

◎ホームページへの投稿を呼びかけています。ぜひお立ち寄り下さい。「憲法と私」のコーナーです。形式は問いません。イニシャル掲載です。

◎募金のお願い。当会は会員制をとっていません。皆さまの浄財が頼りです。是非ご協力をお願いいたします。

郵便振込み口座・北広島九条の会

02790-9-65384

平和五七五（灯火会）の句会から

赤とんぼ木の葉は揺れじ雲も動かず
草子
畑仕舞ほかほかおサツを半分こ
草子
柿剥くや老の眼の見開らかる
月子
藤の実を宝と拾ふ三つ子かな
月子
晩秋や数多^{あまた}トラック走り抜け
容子
雪虫や野菜漬け込む母偲ぶ
容子
雨上がり兄の出棺見守る^{まも}虹
久枝
祝言のやうに雪降る一日かな
泉
その土の諸がゆのことひそと雪
泉

（今回は 2 月 6 日 九時半夢プラザ）